

1 訪問者一覧

No.	団体・役職	氏名・活動内容等
1	浜名湖養魚漁業協同組合 組合長	外山 昭廣（そとやま あきひろ） 浜名湖地域の養鰻業の運営を主体として、 加工直売も実施 「でしこ」認定基準の1つに、浜名湖養魚 漁業協同組合の認定飼料を使用
2	専務理事	徳増 源登（とくます げんと）
3	販売部長	小川 博之（おがわ ひろゆき）
4	浜松パワーフード学会 会長	秋元 健一（あきもと けんいち） 「浜松料理じねん」 ふじのくに食の都づくり仕事人 （県産の食材を積極的に活用し、本県の農 林水産業や食文化の振興に貢献している 料理人として平成22年（第1回）に表彰）
5	(株) filments (フィルムツ) 代表取締役	深瀬 泰宏（ふかせ やすひろ） ブランディングプロデューサー 浜松市の動画・映像制作会社として、企業 のプロモーション活動を実施
6	Arrow (株) (アロー) 代表取締役	鈴木 裕矢（すずき ゆうや） ブランディングディレクター 浜松市のデザイン会社としてブランディ ングとマーケティングを実施

(敬称略)

2 表敬概要

日 時：令和7年5月1日（木）

午前10時30分から10時45分まで

場 所：県庁東館5階 知事室

概 要：・浜名湖うなぎの新ブランド「でしこ」の取組紹介

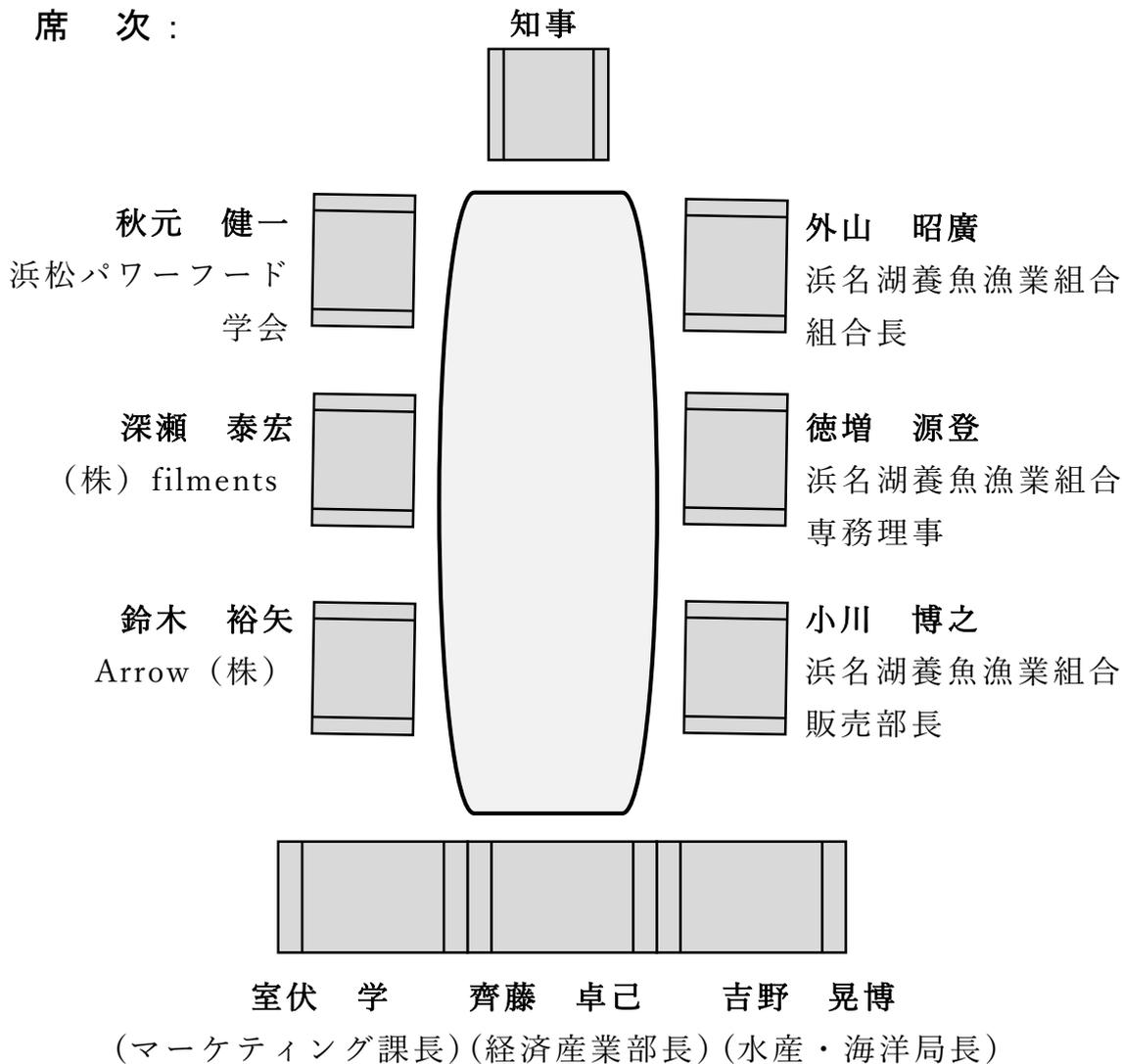
新ブランドの立上げ経緯や意義、応援状況を報告

クラウドファンディング支援総額1,530万円、支援者953名

「でしこ」を活用した今後の地域活性化の取組

- ・「でしこ」の試食
- ・知事との写真撮影

席 次：



3 「浜名湖養魚漁業協同組合」の概要

<団体概要>

発 足：1949年（昭和24年）

組合員：163件（うち養鰻経営体27件）

<主な取組>

- ・共同出荷施設および加工施設を運営し、「浜名湖うなぎ」総本山として安定供給と品質向上を推進
- ・海外輸出・新ブランド開発等による販路拡大と収益力強化を図る
- ・高校生や若年層が参画する「うなぎの街プロジェクト」や「浜名湖うなぎまつり」などを通じて地域ぐるみの活性化を推進
- ・スマート養殖の導入やデジタル人材育成、女性や多様な人材の活躍促進に取り組む

<受賞歴等>

- ・頂（しずおか食セレクション）認定品
- ・浜松地域ブランド「やらまいか」永久認定品

（評価・位置付け）

- ・浜名湖うなぎブランドの継承と革新を担う中核組織として、地域資源の有効活用や次世代人材育成に貢献
- ・養殖業の高付加価値化、省エネ・スマート化への対応に取り組み、持続可能な漁業モデルを先導（受賞理由）

4 「浜松パワーフード学会」の概要

<団体概要>

発 足：2019年4月

会 員：約100事業者

(飲食、宿泊施設、生産者、加工業者等)

<主な取組>

- ・地元農家と飯米と水で作った新しい酒を地元酒蔵2社と商品化。食用米と精米歩合90%で食品ロス減
- ・管理栄養士監修のもと、地産地消の弁当を商品化し、地元スーパーにて10万食を販売
- ・よりよい食文化形成と全国全世界から顧客を集める浜松パワーフード学会検討会を開催

<受賞歴等>

令和4年度ふじのくに食の都づくり貢献賞受賞

本県の食文化の振興に貢献する等、模範的活動を実践している企業・団体の功績たたえ表彰

(受賞理由)

- ・家康公にまつわる歴史的背景にちなみ、浜松市食材及び県農林水産物の認知向上や地域の活性化を推進
- ・地域食材を使用したメニューや商品の開発、産地訪問等による人材育成

5 新ブランドうなぎ「でしこ」の概要

うなぎ養殖発祥の地として、伝統を進化させた新しい浜名湖うなぎブランド
（「日本一美味しいうなぎをつくる」プロジェクト）

「で」…伝統を守り、「し」…進化を続け、「こ」…幸福を届ける

<でしこの認定基準>

- ・ 浜名湖養魚漁業協同組合の組合員が養殖したうなぎであること
- ・ 稚魚から出荷までを浜名湖地域で養育されたうなぎであること
- ・ 浜名湖養魚漁業協同組合認定の飼料を使用していること
- ・ 出荷までに2回の品質検査をクリアしていること

<でしこの特徴>

【品質】

- ・ 生長しても身が固くならない
- ・ 春先でも身が固くならず、季節を問わず常に安定した品質を維持
- ・ 肉厚で柔らかく、脂のりが広がる

【パッケージ等】

- ・ 浜名湖のシンボルともいえる「弁天の大鳥居の夕日」をモチーフにしたパッケージ
- ・ 書道家の松下夕那さんによる「でしこ」のロゴデザイン
- ・ 贈答品としてもご活用いただけるよう、上品で高級感のある仕様（大切な方への贈り物としても喜ばれるデザイン）

<取組内容>

- ・ 2024年12月、浜名湖周辺の飲食店を中心に初出荷
- ・ 広く消費者へのPRするため、クラウドファンディングの返礼品としたところ、12月14日から2月16日までの約2ヶ月で、15,334,700円、953人が支援（当該サイトで日本一の支援額）
- ・ 養鰻業者が400軒以上から27軒に減少する中、技術の粋を集めた高品質なうなぎをブランド化することで、浜名湖うなぎの未来を支える